

上場会社名 株式会社SHIFT 上場取引所 東
 コード番号 3697 URL https://www.shiftinc.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)丹下 大
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理部 部長 (氏名)岡 朋宏 (TEL)03(6809)1165
 定時株主総会開催予定日 2020年11月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2020年11月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期の連結業績 (2019年9月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	28,712	47.0	2,353	52.8	2,535	64.1	1,648	69.9
2019年8月期	19,531	52.7	1,540	28.3	1,544	24.7	970	163.5
(注) 包括利益	2020年8月期 1,892百万円 (78.9%)		2019年8月期 1,058百万円 (143.5%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年8月期	104.50	96.91	17.2	14.6	8.2
2019年8月期	65.54	60.11	17.7	14.5	7.9

(参考) 持分法投資損益 2020年8月期 -百万円 2019年8月期 △7百万円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数の算出に当たり、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式の期中平均株式数を控除する自己株式数に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期	19,821	10,781	53.0	661.65
2019年8月期	14,975	8,938	57.7	551.69

(参考) 自己資本 2020年8月期 10,511百万円 2019年8月期 8,645百万円

(注) 1株当たり純資産の算定に用いられた普通株式の期末発行済株式数の算出に当たり、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式の期末株式数を控除する自己株式数に含めております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年8月期	2,250	△5,926	1,510	6,524
2019年8月期	1,133	△1,152	6,247	8,691

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年8月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2021年8月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2021年8月期の連結業績予想 (2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	55.9%	1,200	△3.4%	1,200	△5.7%	700	△7.2%	44.06
通期	45,000	56.7%	3,400	44.5%	3,400	34.1%	2,100	27.4%	132.18

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 3社（社名）株式会社分析屋、株式会社xbs、株式会社エスエヌシー 除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2020年8月期	15,940,500株	2019年8月期	15,737,000株
2020年8月期	53,341株	2019年8月期	66,260株
2020年8月期	15,777,156株	2019年8月期	14,808,008株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式（2020年8月期 53,100株、2019年8月期 66,100株）が含まれております。また、期中平均株式数の算出に当たり、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式の期中平均株式数を控除する自己株式数に含めております（2020年8月期 58,712株、2019年8月期 71,511株）。

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年8月期の個別業績（2019年9月1日～2020年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	19,484	36.7	1,552	39.4	1,649	52.4	1,191	48.4
2019年8月期	14,252	48.4	1,113	37.4	1,082	32.9	802	385.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期	75.50	70.02
2019年8月期	54.22	49.72

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数の算出に当たり、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式の期中平均株式数を控除する自己株式数に含めております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期	17,274	9,848	57.0	619.87
2019年8月期	13,241	8,273	62.5	527.81

(参考) 自己資本 2020年8月期 9,847百万円 2019年8月期 8,271百万円

(注) 1株当たり純資産の算定に用いられた普通株式の期末発行済株式数の算出に当たり、「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式の期末株式数を控除する自己株式数に含めております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、当初、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移していましたが、2020年に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界的に経済活動は停滞し、景気が急速に悪化したことから、先行きの不透明感が一層強まりました。

当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大防止にグループ会社一丸となって取り組んでまいりました。従業員の安心/安全を守る施策として全従業員へ毎日の検温測定と報告の徹底、全社的な在宅勤務の推奨、それに伴い案件従事者が在宅勤務を実現できるような3段階のセキュリティ体制の構築とお客様への提案活動、また出社せざるを得ない従業員等に対する「危険手当」の支給など、比較的早期から対策を講じてまいりました。

当社グループは、様々な業界のお客様にサービスを提供しているため、業績への影響は限定的なものとなっております。現時点の経済活動状況を前提とするとこの傾向は続くものと予想しております。

当社グループがサービスを提供するソフトウェア関連市場においては、社会全体に変革を起こすDX（デジタル・トランスフォーメーション）という概念が浸透し始めてきており、よりスピーディに実装とテストを繰り返して開発を進めるアジャイル開発や、既存のシステムを先進的な環境で新たにシステムを作り直して移転するマイグレーションの発展など、目まぐるしく市場が変化しております。

加えて、労働人口の減少と政府が掲げるデジタル改革のもと、BPM（ビジネス・プロセス・マネジメント）、AI（アーティフィシアル・インテリジェンス）、IoT（インターネット・オブ・シングス）などの推進も加速することが見込まれます。また、いわゆる「三密」回避などの新型コロナウイルス感染症の防止策により、各種のネットワークやコンテンツのセキュリティレベルの見直しが図られる状況となっております。

こうした経営環境の中、当社グループでは当連結会計年度を売上高1,000億円企業に向けた、2つ目の通過点である成長戦略「SHIFT300 -シフトスリーハンドレッド-」の最終年度として位置づけ、既存顧客にむけた付加価値向上による売上規模の拡大、新たな業種の開拓、新たな採用手法の開発や採用母集団の拡大による採用力の向上を重点課題として取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度においては売上高28,712,177千円（前年同期比47.0%増）、営業利益2,353,376千円（前年同期比52.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,648,692千円（前年同期比69.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①エンタープライズ市場

エンタープライズ市場では、金融業、流通業、製造業、通信業、ウェブサービス業など社会基盤を支える企業における業務システムや情報システムにおいて、ソフトウェアの品質保証に関するサービス全般を提供しております。

当連結会計年度では、前連結会計年度より特にIT投資規模が大きい通信・保険業界などの各分野を注力業界として定め取り組んだ結果、長期的な関係構築を視野に入れたプロジェクトへの参画が進み、こうした新規顧客からの売上高が徐々に増加してまいりました。この結果、当連結会計年度のエンタープライズ市場の売上高は25,994,799千円（前年同期比49.6%増）、営業利益は4,448,657千円（前年同期比5.0%増）となりました。

②エンターテインメント市場

エンターテインメント市場では、モバイルゲーム、ソーシャルゲーム、コンシューマゲーム等を消費者に提供のお客様に向け、品質管理工程やデバック業務のアウトソーシング、カスタマーサポート業務のアウトソーシングにより、お客様ビジネスの付加価値を向上させるサービスを提供しております。

当連結会計年度では、競合との差別化を図ることによる業界内認知度の向上や、既存顧客からの売上高が増加したことにより、収益基盤の拡大を進めました。この結果、当連結会計年度のエンターテインメント市場の売上高は2,717,377千円（前年同期比26.2%増）、営業利益は430,334千円（前年同期比7.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度における資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4,845,780千円増加し、19,821,109千円となりました。これは主に、買い増し等により投資有価証券が2,885,159千円増加し、連結開始によりのれんが1,819,435千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度における負債につきましては、前連結会計年度末と比べ3,002,339千円増加し、9,039,614千円となりました。これは主に、長期借入金（一年以内返済予定の長期借入金を含む）が1,814,234千円増加し、未払消費税等が555,982千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度における純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ1,843,440千円増加し、10,781,494千円となりました。これは主に、利益剰余金が1,648,692千円、その他有価証券評価差額金が133,842千円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は前連結会計年度末より2,167,222千円減少した結果、6,524,000千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動によるキャッシュ・フローは2,250,560千円の収入（前年同期は1,133,873千円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加634,589千円や法人税等の支払額832,943千円等の資金の減少要因があったものの、税金等調整前当期純利益の計上2,535,129千円、減価償却費327,977千円、未払金及び未払費用の増加39,625千円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動によるキャッシュ・フローは5,926,354千円の支出（前年同期は1,152,505千円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出2,697,869千円や連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,650,717千円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動によるキャッシュ・フローは1,510,923千円の収入（前年同期は6,247,891千円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出981,155千円や連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出316,049千円等の資金の減少要因があったものの、長期借入れによる収入2,600,000千円や株式発行による収入241,335千円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期
自己資本比率	51.7	36.1	36.7	57.7	53.0
時価ベースの自己資本比率	589.3	384.8	1,129.1	567.5	986.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	4.7	5.2	1.4	2.5	2.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ	50.4	63.0	178.6	154.3	306.3

(注) 1. 各指標の算出方法は以下のとおりであります。

- ・自己資本比率(%) : 自己資本/総資産
- ・時価ベースの自己資本比率(%) : 株式時価総額/総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年) : 有利子負債/キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍) : キャッシュ・フロー/利払い

2. キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを使用しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債(リース債務を含む)を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

4. 各指標は連結ベースの財務数値により計算しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしまして、経済環境や貿易摩擦などへの不安感に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、非常に不透明かつ不確実であります。

このような状況のもと、当社グループがサービス提供を行っているソフトウェア開発を生業とする取引先においては、業種業態によって新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けやすいところと、さらなる投資をし続けるところが混在しておりますが、当社グループが新型コロナウイルス感染症拡大により受ける影響は限定的と考えております。

そのため、翌連結会計年度の業績予想につきましては、現時点での経済活動状況を前提として算定しております。

このような状況から、2021年8月期連結業績予想は、売上高45,000百万円(前年度比56.7%増)、営業利益3,400百万円(前年度比44.5%増)、経常利益3,400百万円(前年度比34.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2,100百万円(前年度比27.4%増)となる見通しであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、当面においては日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、今後のIFRS(国際財務報告基準)の採用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,691,223	6,524,000
売掛金	2,909,200	3,837,591
たな卸資産	186,672	383,402
その他	245,677	451,706
貸倒引当金	△17,927	△21,155
流動資産合計	12,014,846	11,175,545
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	287,993	311,198
工具、器具及び備品(純額)	176,260	344,173
リース資産(純額)	47,739	32,889
その他(純額)	8,531	16,658
有形固定資産合計	520,525	704,920
無形固定資産		
のれん	1,207,774	3,027,209
その他	442,245	936,885
無形固定資産合計	1,650,020	3,964,094
投資その他の資産		
投資有価証券	33,304	2,918,464
繰延税金資産	159,768	257,566
長期預金	105,774	102,857
敷金及び保証金	466,299	595,994
その他	24,789	101,666
投資その他の資産合計	789,936	3,976,548
固定資産合計	2,960,482	8,645,563
資産合計	14,975,329	19,821,109
負債の部		
流動負債		
買掛金	474,634	426,557
1年内返済予定の長期借入金	669,781	1,012,993
未払費用	1,127,096	1,139,466
未払法人税等	389,541	482,522
未払消費税等	439,361	995,343
賞与引当金	96,941	131,536
その他	575,399	999,759
流動負債合計	3,772,756	5,188,178
固定負債		
長期借入金	2,103,628	3,574,651
その他	160,890	276,784
固定負債合計	2,264,518	3,851,436
負債合計	6,037,275	9,039,614

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,268,039	63,367
資本剰余金	3,222,851	6,501,820
利益剰余金	2,214,450	3,863,142
自己株式	△50,636	△41,269
株主資本合計	8,654,704	10,387,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	133,842
為替換算調整勘定	△9,283	△9,098
その他の包括利益累計額合計	△9,283	124,743
新株予約権	1,842	757
非支配株主持分	290,790	268,932
純資産合計	8,938,053	10,781,494
負債純資産合計	14,975,329	19,821,109

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
売上高	19,531,960	28,712,177
売上原価	13,315,898	19,762,042
売上総利益	6,216,061	8,950,134
販売費及び一般管理費	4,675,448	6,596,758
営業利益	1,540,613	2,353,376
営業外収益		
受取利息	615	1,036
受取配当金	10	92,420
助成金収入	49,275	90,750
その他	8,202	14,869
営業外収益合計	58,104	199,076
営業外費用		
支払利息	7,346	10,299
持分法による投資損失	7,035	-
為替差損	4,035	2,374
支払手数料	-	3,058
資金調達費用	34,111	132
その他	1,321	1,459
営業外費用合計	53,851	17,322
経常利益	1,544,865	2,535,129
特別利益		
関係会社株式売却益	3,951	-
投資有価証券売却益	302	-
段階取得に係る差益	8,570	-
特別利益合計	12,824	-
税金等調整前当期純利益	1,557,690	2,535,129
法人税、住民税及び事業税	624,578	929,935
法人税等調整額	△128,711	△153,671
法人税等合計	495,867	776,264
当期純利益	1,061,823	1,758,865
非支配株主に帰属する当期純利益	91,332	110,173
親会社株主に帰属する当期純利益	970,490	1,648,692

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
当期純利益	1,061,823	1,758,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	133,842
為替換算調整勘定	△3,713	185
その他の包括利益合計	△3,713	134,027
包括利益	1,058,109	1,892,893
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	966,776	1,782,720
非支配株主に係る包括利益	91,332	110,173

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	585,694	540,506	1,243,959	△60,175	2,309,984
当期変動額					
新株の発行	2,682,345	2,682,345			5,364,690
親会社株主に帰属する当期純利益			970,490		970,490
自己株式の処分				9,539	9,539
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	2,682,345	2,682,345	970,490	9,539	6,344,720
当期末残高	3,268,039	3,222,851	2,214,450	△50,636	8,654,704

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△5,570	△5,570	2,562	199,457	2,506,433
当期変動額					
新株の発行					5,364,690
親会社株主に帰属する当期純利益					970,490
自己株式の処分					9,539
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,713	△3,713	△720	91,332	86,899
当期変動額合計	△3,713	△3,713	△720	91,332	6,431,619
当期末残高	△9,283	△9,283	1,842	290,790	8,938,053

当連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,268,039	3,222,851	2,214,450	△50,636	8,654,704
当期変動額					
新株の発行	121,210	121,210			242,420
減資	△3,325,881	3,325,881			-
親会社株主に帰属する当期純利益			1,648,692		1,648,692
自己株式の取得				△555	△555
自己株式の処分				9,921	9,921
連結子会社株式の取得による持分の増減		△168,122			△168,122
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△3,204,671	3,278,968	1,648,692	9,366	1,732,356
当期末残高	63,367	6,501,820	3,863,142	△41,269	10,387,060

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	-	△9,283	△9,283	1,842	290,790	8,938,053
当期変動額						
新株の発行						242,420
減資						-
親会社株主に帰属する当期純利益						1,648,692
自己株式の取得						△555
自己株式の処分						9,921
連結子会社株式の取得による持分の増減						△168,122
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	133,842	185	134,027	△1,085	△21,857	111,084
当期変動額合計	133,842	185	134,027	△1,085	△21,857	1,843,440
当期末残高	133,842	△9,098	124,743	757	268,932	10,781,494

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,557,690	2,535,129
減価償却費	199,546	327,977
のれん償却額	125,678	264,742
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,315	3,228
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,601	16,942
受取利息及び受取配当金	△625	△93,456
支払利息	7,346	10,299
為替差損益 (△は益)	7,948	2,321
持分法による投資損益 (△は益)	7,035	-
関係会社株式売却損益 (△は益)	△3,951	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△302	-
段階取得に係る差損益 (△は益)	△8,570	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△866,029	△634,589
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19,044	△96,430
前払費用の増減額 (△は増加)	△62,286	△17,461
仕入債務の増減額 (△は減少)	24,522	△125,578
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	439,491	39,625
その他	408,432	767,596
小計	1,834,799	3,000,346
利息及び配当金の受取額	625	93,456
利息の支払額	△7,346	△10,299
法人税等の支払額	△694,204	△832,943
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,133,873	2,250,560
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△213,858	△411,593
有形固定資産の売却による収入	22,552	-
無形固定資産の取得による支出	△66,038	△71,997
関係会社株式の売却による収入	16,351	-
投資有価証券の取得による支出	-	△2,697,869
投資有価証券の売却による収入	500	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,059,733	△2,650,717
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	75,610	-
敷金の差入による支出	△143,091	△134,944
敷金の回収による収入	6,954	5,656
その他	208,248	35,111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,152,505	△5,926,354
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,550,000	2,600,000
長期借入金の返済による支出	△547,832	△981,155
株式の発行による収入	5,320,148	241,335
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△316,049
その他	△74,424	△33,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,247,891	1,510,923
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,437	△2,351
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,216,822	△2,167,222
現金及び現金同等物の期首残高	2,474,400	8,691,223
現金及び現金同等物の期末残高	8,691,223	6,524,000

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

全ての子会社を連結しております。

(1) 連結子会社の数 25社

(2) 主要な連結子会社の名称

SHIFT ASIA CO., LTD.

株式会社 SHIFT SECURITY

ALH株式会社

株式会社システムアイ

株式会社ナディア

株式会社エスエヌシー

2020年3月31日付で株式会社ナディアの全株式を取得したことにより、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

また、2020年4月30日付で株式会社エスエヌシーの全株式を取得したことにより、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

2 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、ALH株式会社他17社については決算日が連結決算日と異なりますが、連結財務諸表の作成にあたっては、連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。なお、その他の連結子会社の決算日は連結決算日と一致しております。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「有形固定資産」の「その他(純額)」に含めていた「工具、器具及び備品」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「有形固定資産」の「その他(純額)」に表示していた184,792千円は、「工具、器具及び備品(純額)」176,260千円及び「その他(純額)」8,531千円として組み替えております。

前連結会計年度において、「流動負債」の「その他」に含めていた「未払消費税等」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた1,014,761千円は、「未払消費税等」439,361千円及び「その他」575,399千円として組み替えております。

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において営業外収益の「その他」に含めていた「受取配当金」は、重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、営業外収益の「その他」に表示していた8,212千円は、「受取配当金」10千円及び「その他」8,202千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、ソフトウェアテストを中心とするソフトウェアの品質保証サービス全般を提供しており、市場別に成長の方向性を立案し、事業活動を展開しております。このため、「エンタープライズ市場」及び「エンターテインメント市場」の2つを報告セグメントとしております。

「エンタープライズ市場」では、金融業、流通業、製造業、通信業、ウェブサービス業など社会基盤を支える企業における業務システムや情報システムにおいて、ソフトウェアの品質保証に関するサービス全般を提供しております。

「エンターテインメント市場」では、モバイルゲーム、ソーシャルゲーム、コンシューマゲーム等を中心とした娯楽を提供する企業向けに、ソフトウェアの品質保証に関するサービス全般を提供しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年9月1日 至 2019年8月31日）

(単位：千円)

	エンタープライズ市場	エンターテインメント市場	合計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	17,378,649	2,153,310	19,531,960	—	19,531,960
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,378,649	2,153,310	19,531,960	—	19,531,960
セグメント利益	4,235,435	465,820	4,701,256	△3,160,642	1,540,613
その他の項目					
減価償却費	156,553	17,381	173,935	25,610	199,546

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,160,642千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産は、各報告セグメントに配分していないため、記載を省略しておりますが、減価償却費については合理的な基準に従い、各報告セグメントに配分しております。

4. のれん償却額は、全社費用であります。

当連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	エンタープライズ 市場	エンターテインメ ント市場	合計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	25,994,799	2,717,377	28,712,177	—	28,712,177
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,994,799	2,717,377	28,712,177	—	28,712,177
セグメント利益	4,448,657	430,334	4,878,992	△2,525,616	2,353,376
その他の項目					
減価償却費	265,635	23,425	289,060	38,916	327,977

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,525,616千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産は、各報告セグメントに配分していないため、記載を省略しておりますが、減価償却費については合理的な基準に従い、各報告セグメントに配分しております。

4. のれん償却額は、全社費用であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり純資産額	551円69銭	661円65銭
1株当たり当期純利益	65円54銭	104円50銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	60円11銭	96円91銭

- (注) 1. 「株式給付型ESOP信託口」が保有する当社株式を、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度66,100株、当連結会計年度53,100株)。
また、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度71,511株、当連結会計年度58,712株)。
2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	970,490	1,648,692
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	970,490	1,648,692
普通株式の期中平均株式数(株)	14,808,008	15,777,156
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	1,338,414	1,234,905
(うち新株予約権(株))	(1,338,414)	(1,234,905)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第7回新株予約権 220個(22,000株)	第7回新株予約権 220個(22,000株)

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2019年8月31日)	当連結会計年度末 (2020年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	8,938,053	10,781,494
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	292,632	269,689
(うち新株予約権(千円))	(1,842)	(757)
(うち非支配株主持分(千円))	(290,790)	(268,932)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,645,421	10,511,804
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	15,670,740	15,887,159

(重要な後発事象)

(株式取得による子会社化)

当社は、2020年8月25日開催の取締役会において、株式会社ホープスの全株式を取得することとその前提条件の決定について代表取締役に一任することを決議し、それに基づき2020年9月7日に同社を子会社化することを決定し、同日付で同社との間で株式譲渡契約を締結しました。

1. 株式取得の目的

昨今のIT市場においてERP関連の需要が高まるなか、当社グループはさらにシームレスなサービスを提供することで、お客様により高い価値を提供できると考えております。そのために当社グループがお客様のビジネス成功をさらに支援すべく、ERP関連のサービス体制強化を目的に、ERPシステムの導入から保守にいたるまで、多様なノウハウや経験を蓄積する株式会社ホープスを子会社化することといたしました。

2. 買収する会社の概要

名称	株式会社ホープス		
事業内容	企業における生産・物流の機能改善 基幹業務システムの分析と改善 情報システム設計・開発・運用業務		
事業規模	資本金	50,000千円	
(2019年12月期)	純資産	974,593千円	
	総資産	1,587,991千円	
	売上高	5,069,843千円	

3. 株式取得の時期

2020年9月30日

4. 取得する株式の数、取得対価及び取得後の持分比率

取得する株式の数	普通株式	1,000株
取得対価	3,050,000千円	
取得後の持分比率	100%	

※取引条件には、取引実行日時点の貸借対照表に基づく取得価額修正条項があり、最終的な取得価額が変化する場合があります。

5. 支払資金の調達方法

自己資金